

牛のランピースキン病 韓国で初症例が確認されました

●「ランピースキン病」とは

- **届出伝染病**（日本では殺処分の対象とはなりません）
- 牛、水牛が感染するウイルス性疾患で、生産性低下・経済的被害が大きい。
ハエや蚊、ダニ等の節足動物による機械的伝播等により感染。
- 日本では未発生。**アジアでの発生が拡大**しています

**アジアでの発生状況、症状等の詳細は
次のページ参照**

ランピースキン病をはじめとする病原体の侵入を防止しましょう。

➤ 侵入防止対策

- 媒介節足動物駆除等対策を必要に応じて行ってください

➤ 早期発見・早期通報

- 毎日の健康観察を十分に行ってください
- 異状がありましたら家畜保健衛生所へご連絡ください

岐阜県中央家畜保健衛生所

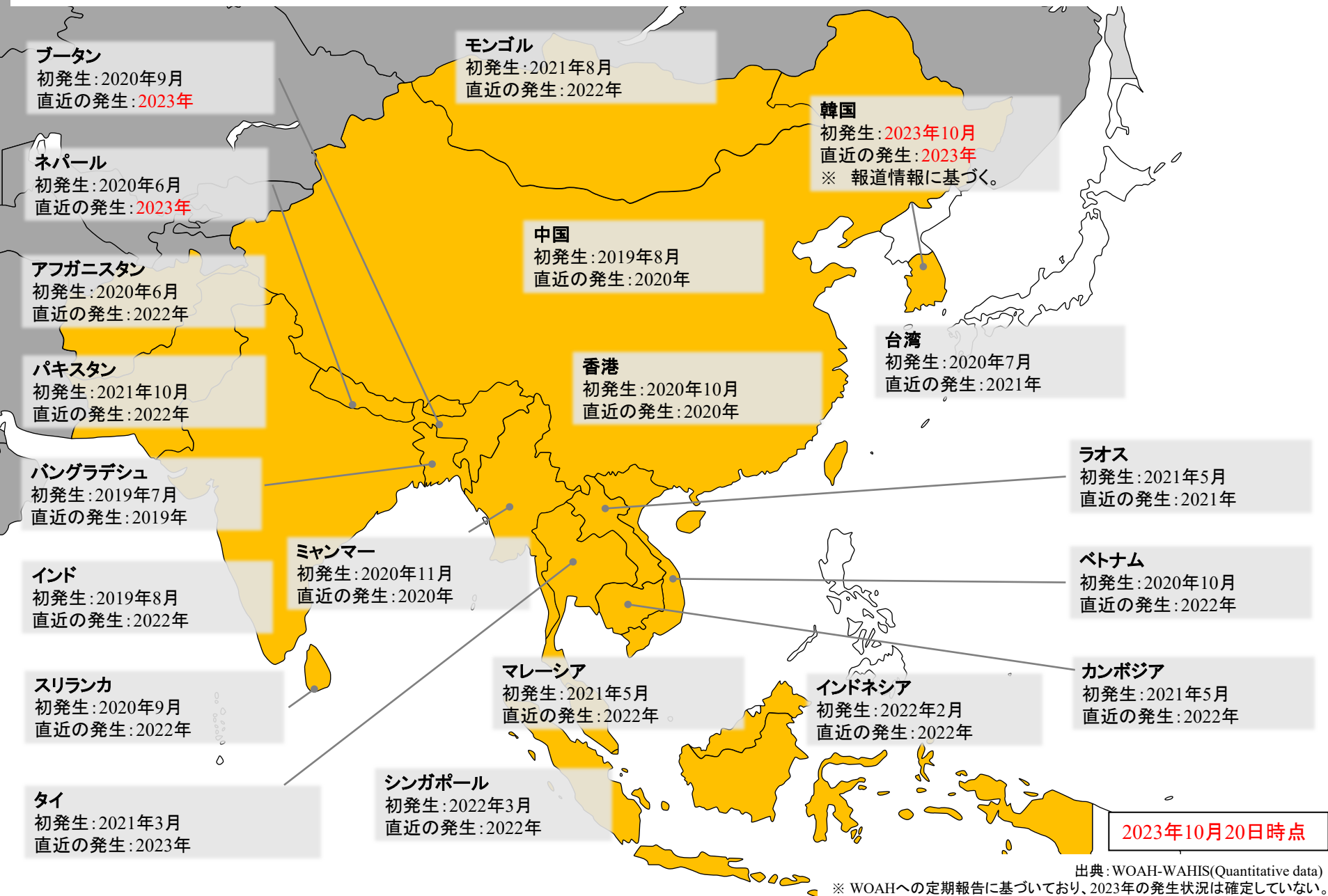
岐阜市柳戸1-1 TEL:(058)201-0530 FAX:(058)201-0531

E-mail: c24502@pref.gifu.lg.jp

休日・平日の時間外の緊急連絡はTEL:090-7024-5269まで



アジアにおけるランピースキン病の発生状況(2019年以降)



ランピースキン病

ランピースキン病とは

届出伝染病 WOAH通報対象疾病

病原体

ランピースキン病ウイルス（ポックスウイルス科カプリポックス属）

宿主

牛、水牛

症状

皮膚の結節や水腫、発熱、抑うつ、リンパ節の肥大、粘膜の結節、鼻や目の出血、乳汁の減少、脚の腫れ、跛行など。泌乳ピーク期の乳牛や子牛で症状が重い（死亡例もある）。生産性低下・経済的被害大。

伝播方法

- ・ベクター（蚊、ハエ、ダニなど）によって機械的に伝播。
- ・汚染された飼料、水、器具を介して感染。

予防と制御

感染地域の牛の移動制限＋症状のある牛の淘汰＋ワクチン接種が有効とされている。

（参考）ワクチンは日本では未承認。



出展：WOAHウェブサイト (<https://www.woah.org/en/disease/lumpy-skin-disease/>)

FAOウェブサイト (http://www.fao.org/fileadmin/user_upload/eufmd/LSD/LSD-002_text_NO_logos_2_.pdf)